豊田工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語Ｉ乙A

科目基礎情報

科目番号	01122	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『高等学校　言語文化』（大塚常樹他著　第一学習社）／『常用国語便覧』（加藤道理他編著　浜島書店刊）、古語辞典		
担当教員	玉田 沙織		

到達目標

(ア)伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。
(イ)複数の代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べることができる。
(ウ)目的に応じて、適切な情報収集を行うことができる。
(エ)目的に応じて、適切な情報収集を基にして、分析・整理することができる。
(オ)情報の収集・分析・整理を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、報告を作成することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	伝統的な言語文化の特徴を広く理解し、説明できる。	伝統的な言語文化の特徴を広く理解できる。	伝統的な言語文化の特徴を理解できない。
評価項目(イ)	複数の代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べることができる。	複数の代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解できる。	代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解できない。
評価項目(ウ)	目的に応じて、適切な情報収集を行い、分析・整理することができる。	目的に応じて、適切な情報収集を行うことができる。	目的に応じて、適切な情報収集を行うことができない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

概要	古文・漢文の読解をとおして、当時の時代・文化背景を理解し、ものの考えかたを学び、現代の生活に生かす力を身につける。
授業の進め方・方法	入門として、古典文学は仮名遣いから学ぶ。古典文法の概要を理解し、古語辞典を用い、自分で理解できる力をつける。現代語との比較から古語を考え、言語の歴史的な面も学ぶ。現代にはない文学の形態を学び、その楽しみ・特色を理解し、鑑賞する。また、漢文は、訓読のきまりから学ぶ。
注意点	古語辞典を準備する。現代語の国文法の考え方を身につけておくこと。

選択必修の種別・旧カリ科目名

選択必修（国）

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

必履修

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス（到達目標の提示と注意点の確認）・古文入門（古語と現代語との相違　歴史的仮名遣い　古語辞書の用い方）	到達目標と注意点を理解できる。古文読解に必須の基礎知識を理解できる。
		2週	古典の動詞（国文法の考え方　意味・種類・現代語との相違）・説話の読解１（古文の入門として　古文の読み方）	古文読解に必須の基礎知識を理解できる。説話作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。
		3週	古典の助動詞（国文法の考え方　意味・種類・現代語との相違）・説話の読解２（古文の入門として　古典語の文法）	古文読解に必須の基礎知識を理解できる。説話作品の主題などを理解できる。
		4週	物語の読解１（時代・文化の背景）	物語作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。
		5週	物語の読解２（語句解釈）・和歌の読解１（和歌の修辞法）	物語作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌の読解に必須の基礎知識を理解できる。
		6週	物語の読解３（語句解釈）和歌の読解2（和歌作品の概説）	物語作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。
		7週	物語の読解４（主題把握）・和歌の読解３（和歌作品の解釈・鑑賞）	物語作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。
		8週	物語の読解５（文章法理解　鑑賞）・和歌の読解４（和歌作品の解釈・鑑賞）	物語作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。
	2ndQ	9週	レポート１（作成法理解　情報収集・分析・整理）	報告の作成について、要点を理解できる。報告の作成に必要な情報を収集・整理・分析できる。
		10週	レポート２（情報収集・分析・整理）	報告の作成に必要な情報を収集・整理・分析できる。
		11週	レポート３（情報収集・分析・整理　作成）	情報を収集・整理・分析し、報告を作成することができる。
		12週	説話の読解１（時代・文化の背景）・和歌の読解５（和歌作品の解釈・鑑賞）	説話作品の読解に必須の基礎知識を理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。
		13週	説話の読解２（語句解釈　主題把握）・和歌の読解６（和歌作品の解釈・鑑賞）	説話作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。
		14週	説話の読解３（文章法理解　鑑賞）・和歌の読解７（和歌作品の解釈・鑑賞）	説話作品の主題などを理解できる。和歌作品の主題などを理解できる。
		15週	まとめ（学習内容・学習成果の振り返り）	今期の学習内容・学習成果を振り返り、整理できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前9,前10,前11
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前9,前10,前11
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前11

評価割合				
	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	30	50	20	100
基礎的能力	30	50	20	100